

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年2月3日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第4週 2016年 1月 25日 ~

2016年 1月 31日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	96	51	32	48	146	62	74	179	189	877	2	9	23	36	37	64	66	73	48	56	64	161	36	38	56	53	30	13	10	2

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症			3				1	6	5	15	4	2	5	2	1	1								
咽頭結膜熱	3	2				1	4	1		11		2	2		2		1	2		1		1		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	4	4		8	1	8	14	29	80		1	2	1	8	8	13	7	10	10	6	11		3
感染性胃腸炎	14	2	6	8	43	11	42	51	21	198	3	7	34	20	16	18	13	5	10	7	6	21	16	22
水痘	1	1			2		1		4	9			2	1		1	1			3	1			
手足口病																								
伝染性紅斑		2	1		9		1	4	3	20				2		4	3	3	4	3		1		
突発性発疹	4					1	2	3	1	11		8	2	1										
百日咳																								
ヘルパンギーナ																								
流行性耳下腺炎	1				11			1	1	14				1	2	3	3	1	1	1	1	1		

インフルエンザの定点当たり患者報告数が18.27人となり、注意報レベル(同10人以上)を超えました。例年通りであれば今後4週間以内に流行のピークを迎えます。すべての区で急激に患者が増加し学校や幼稚園でも連日学級閉鎖が報告されています。年齢ごとの患者の割合は、5歳以下27%、6～9歳27%、10～14歳18%、14歳以下の合計72%と小児が中心ですが、20～40歳代の合計が16%と一部の年齢層における大人の感染も拡大しています。こまめな手洗い・うがい、マスク着用、室内の十分な湿度保持(50～60%)、など感染予防に努め、インフルエンザかなと思ったら早めに休むことを検討しましょう。

眼科

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎																													

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

中央区○マイコプラズマ感染症1例:5～9歳男(6301)
垂水区○病原性大腸菌感染症1例:性別・年齢不詳(6804)
垂水区○マイコプラズマ感染症3例:年齢・性別不詳(6804)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は5人(うち潜在性結核感染症0人)です。

【市内の感染症の状況】

インフルエンザの定点あたり患者数は18.27人で注意報レベルを超えました。(先週は8.54人)

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [検索](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年2月3日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	80代	不明	2016年1月31日	2016年2月1日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出 (IC法)	発熱、肺炎、腎不全	不明	

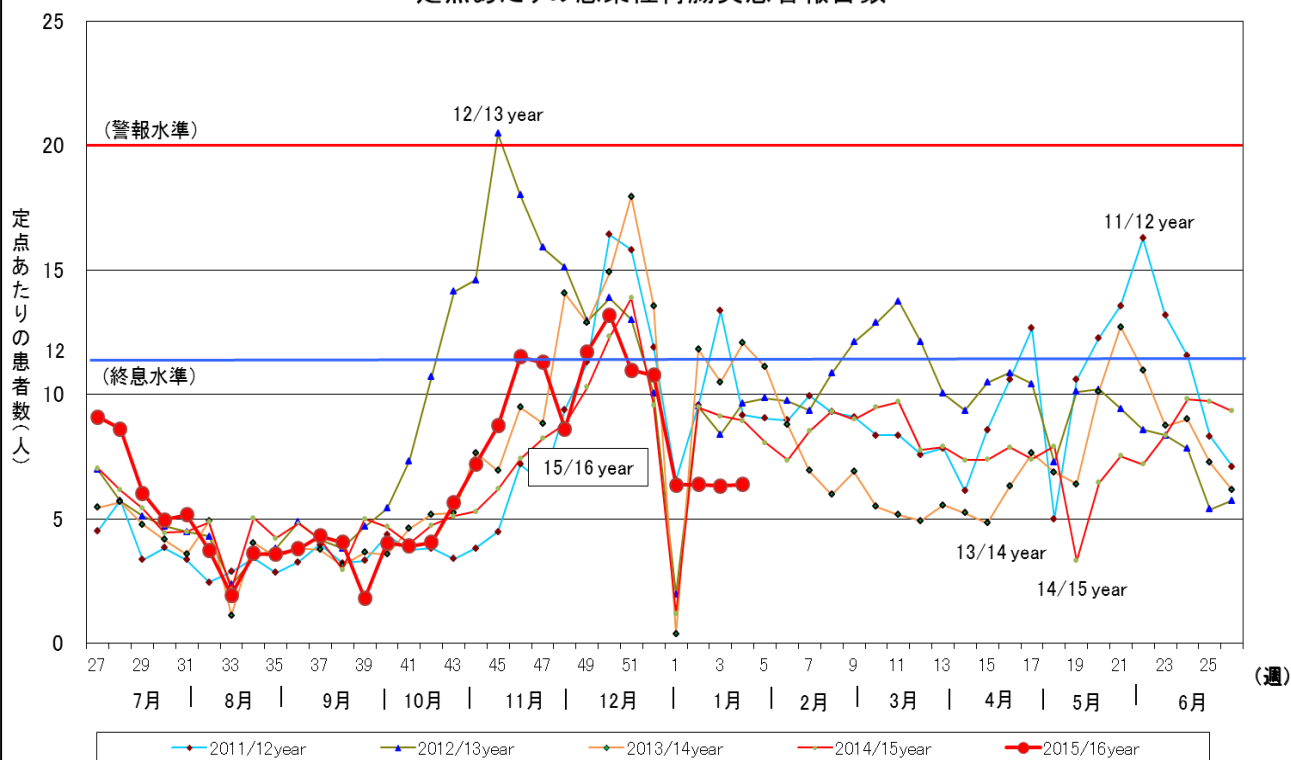
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	80代	2016年1月27日	2016年1月27日	2016年1月27日	/	喀痰・尿からの分離同定及び薬剤耐性の確認	尿路感染症 肺炎	不明	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
アデノウイルス2型	咽頭拭い液	東灘	1歳6か月女児 (1/7採取、40℃、咽頭結膜熱)
A型インフルエンザウイルス (A/H1pdm09)	咽頭拭い液 鼻腔拭い液	須磨	0-4歳男児 (1/25採取、41.5℃、急性脳炎、ワクチン未接種)
A型インフルエンザウイルス (A/H3、香港型)	鼻腔拭い液	東灘	49歳女性 (1/13採取、38℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



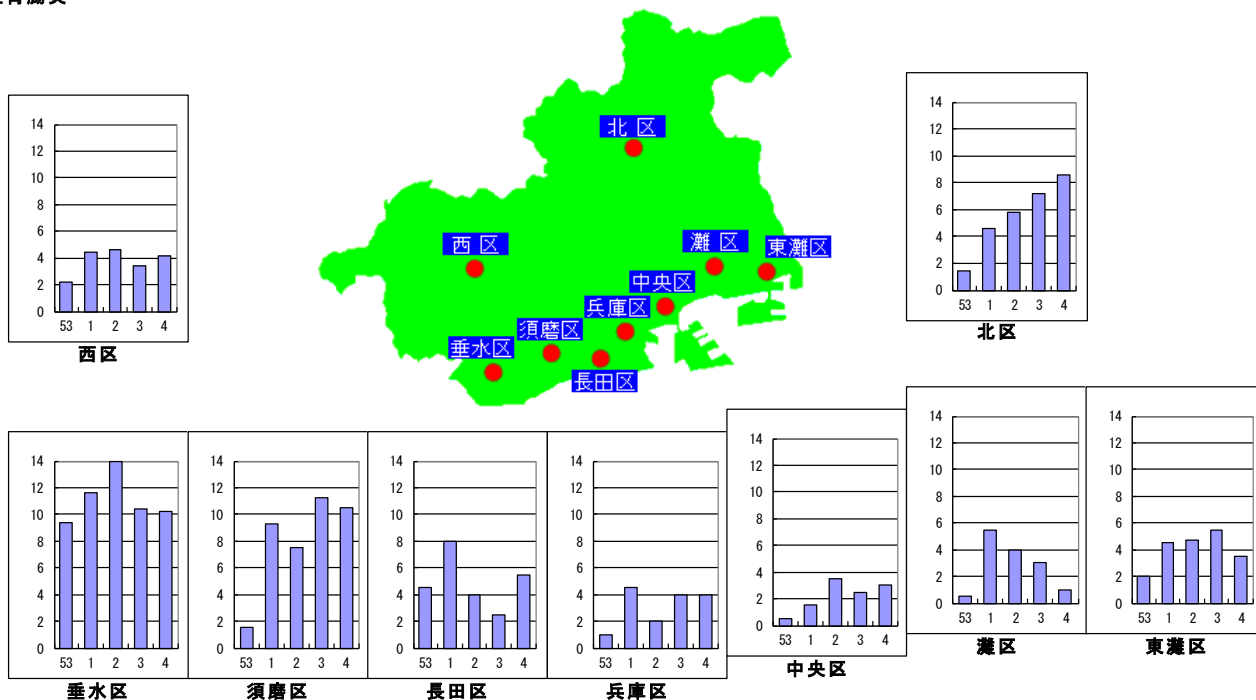
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 53 週 平成27年12月28日

～

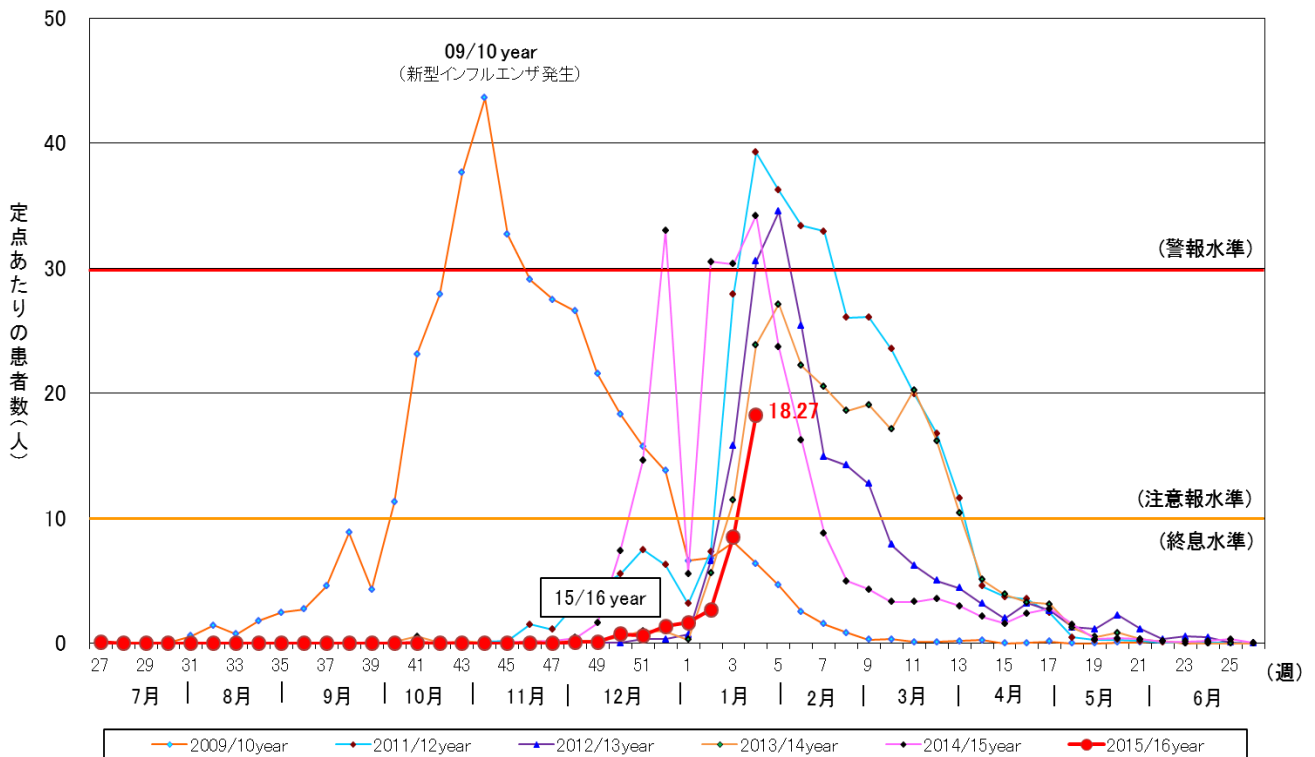
第 4 週 平成28年1月31日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのインフルエンザ患者報告数

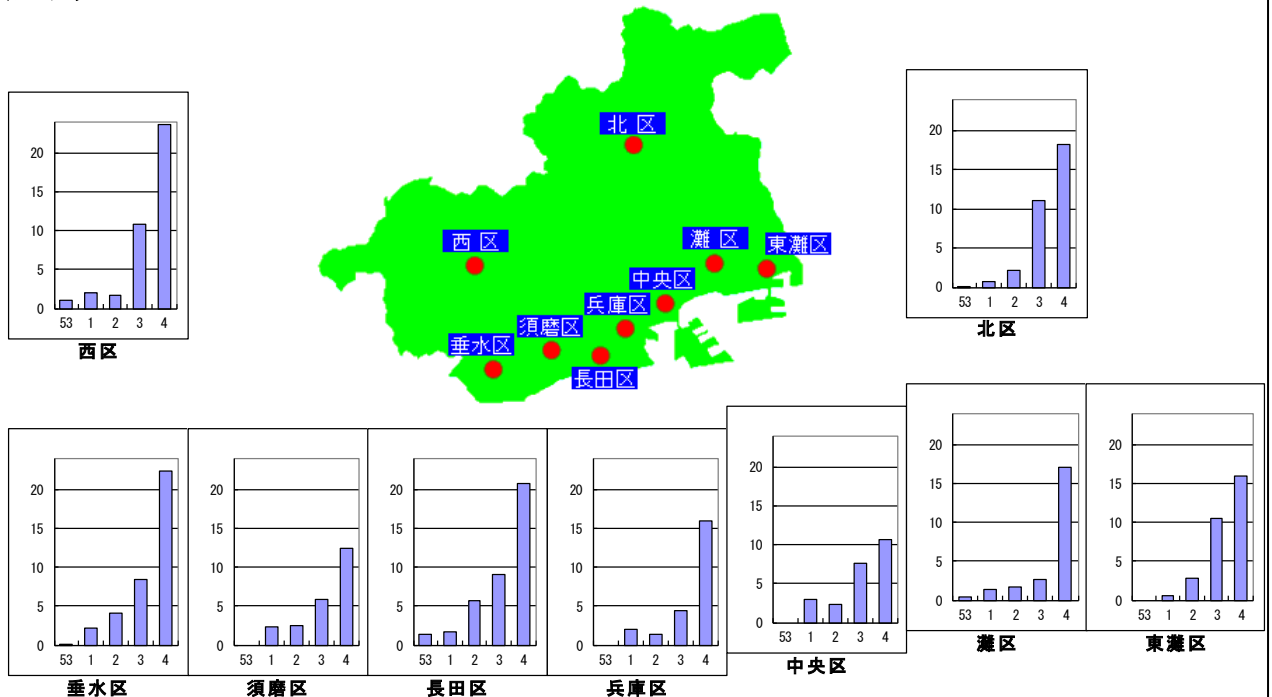


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 53 週 平成27年12月28日

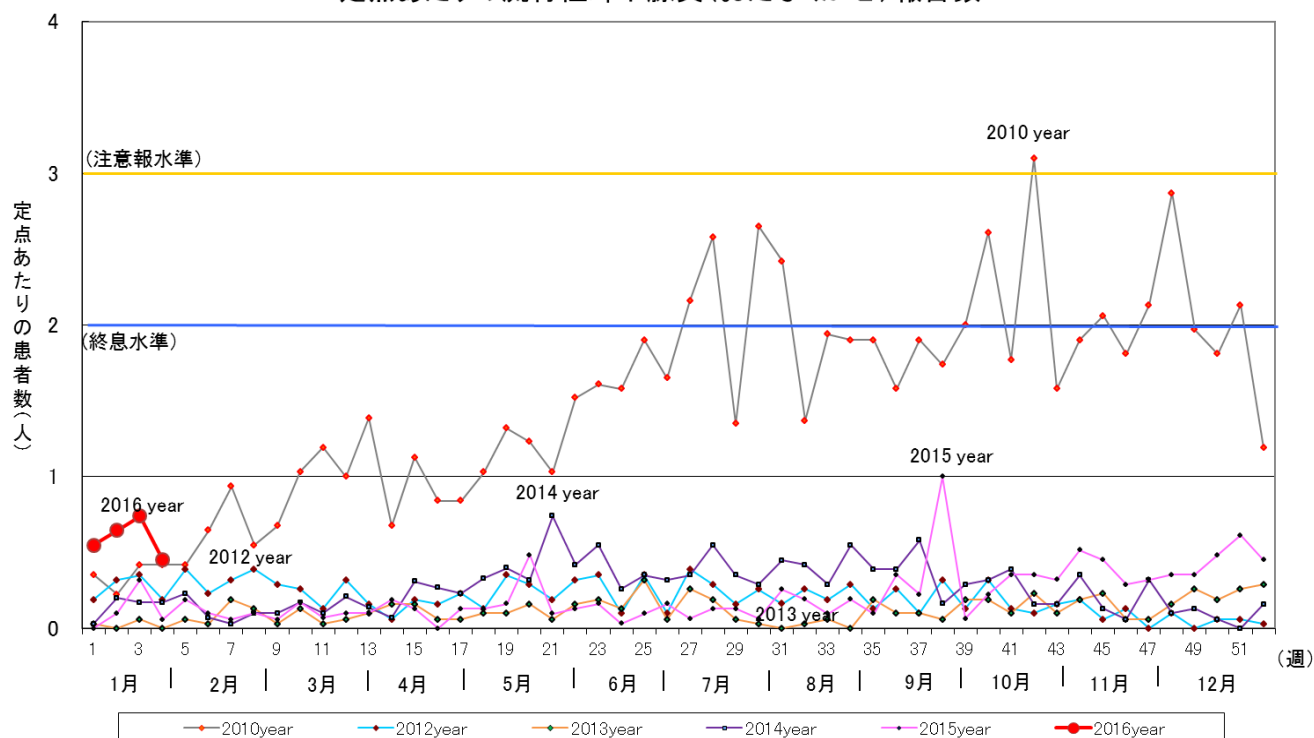
第 4 週 平成28年1月31日

インフルエンザ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)報告数



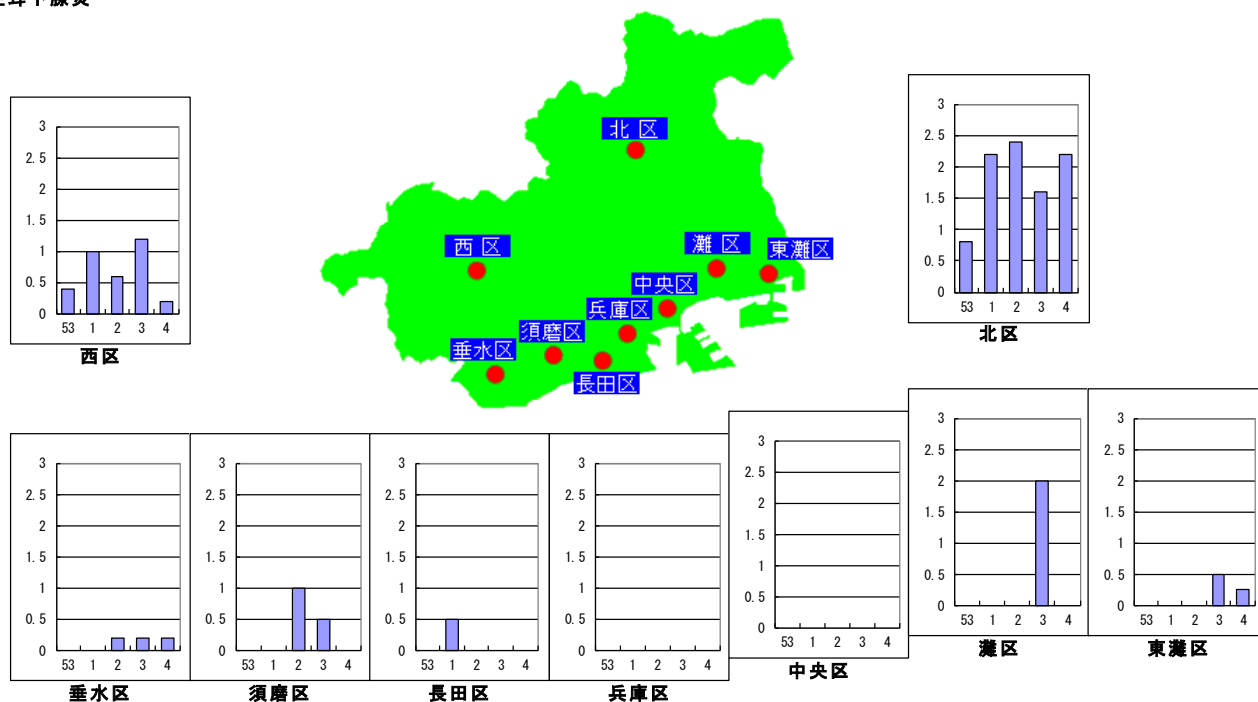
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 53 週 平成27年12月28日

～

第 4 週 平成28年1月31日

流行性耳下腺炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。